



もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にこよう!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com/

12
Dec

NO 305 / 2022

今年もお世話になりました。安全に、より楽しく。来年も一緒に。ファイト!!



Contents

- ★10月例会報告
「スクウスクの森」景観整備
&クラフト体験：富田
..... 2.
- ★11月例会報告
「黄金山」見晴らしを取り戻そう
：本廣
..... 3
- ★クラフト部会報告
秋のグリーンフェア&森の市
：佐藤
..... 4
- ★里山部会報告《11月》：岩田
・樹木いきいき講座<15>：藤原
..... 5
- ★《森づくり啓発シリーズ》
*太田川源流の森に参加：坂田
..... 6
- *中国電カイベントII：秋武
- ★今月のひと枝：くつつきむし
..... 7
- ★12月・各部の活動予定他
・ひろしまドイツクリスマスマーケット
..... 8



「スクウスクの森」例会にて。ほっと一息、はいポーズ。詳細はP2に掲載

私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり

《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



景観を整備して、学びの場をすがすがしい森に。これからも継続して取り組もう!



「スクウスクウの森」は、地域貢献活動や学校間交流事業など、様々な活動の場として、活用させて頂いております。しかし、昔伐倒したままの丸太などの樹木や、竹林の伐採整備の棚積跡、風雨による倒木や落下した大きな枯れ枝など、学びの場として利用する上では、もっと全体の景観を整える必要があるように感じていました。そのような思いから、当日は41名が一丸となって景観整備に当たりました。

朝のミーティングと体操を終え、作業開始前に、まず、全体の森の様子を知るために全員で整備エリアを見学しました。歩きながら見勢井顧問にこれまでの取り組みを説明して頂き、その後、各班に分かれ、早速それぞれの作業場所の整備に取りかかりました。

《A班》は山桜の救出。山桜にコナラが絡まり成長を妨げ瀕死の状態。ただ、樹高がかなり高く簡単には伐倒ができない絡み具合であり、今回は周辺の支障木伐採に止め、次回の課題としました。《B班》は散策道が雨水の浸食で水路となり、道が塞がれた場所への丸太橋の設置を主な作業

として行いました。丸太約4m×4本を利用。併せ、担当者の巧み技を駆使して完成! 施工担当者のサイン入り「〇〇橋?」となりました。散策される時には是非その成果を見てください。

《C班》は倉庫周辺の廃材除去並びに、増築予定地の整備と道沿いの支障木処理を行いました。多くの廃材が散乱し、美観を損ねておりましたが、皆さんの力を結集し新たな棚を設置するなど、集積もスムーズに進み綺麗に整備されました。《D班》は竹林内の整備を主に行いました。過去に棚積した材が散乱した状態であり、かなり重い作業になりましたが、皆さんの協力で集積場所を変えると共に、竹類と枯れ木類を選別するなど工夫した結果、見違えるほど景観が良くなりました。

午後からは、倶楽部のクラフト体験希望者と、学生、地域のみなさんで「フォトスタンド」を作りました。クラフトの部材は、妙國寺で古くから屋根を支えた野地板を再利用、思い思いに「マイフォトスタンド」を楽しく創作されました。きっと皆さんには、妙國寺さんのご利益のある、お土産になったと思います。



妙國寺ご住職もクラフトに参加(左)

昼食は、地元の食材を利用した栗のおむすびや、具沢山の汁、果物や複数の料理を美味しく頂戴しました。食材を提供いただいた皆さまや料理を準備して頂いた地元の方々、誠にありがとうございます!

今回も事故なく楽しく作業を終える事ができました。しかし色々やり残した事もあり、今後も継続して「スクウスクウの森」の景観整備を企画していきたいと思っております。特に、この場で学ぶ児童たちの目に映る森は、綺麗?美しい森?雑然とした森?等々一度聴いてみたいと思います。何か、改善点が見えるかもしれません。

ステキなフォトスタンドができました。





伐倒準備も伐倒も安全最優先!! たくさんの支障木を伐り景観を取り戻しました。



ロープとワイヤーを使って伐倒準備



アラカシ伐倒根を検証



伐倒後のモミジ。景観がよくなりました。

紅葉に彩られた黄金山、今回は「黄金山山頂エリア活性化推進協議会」「南区建設部地域整備課」「地元自治会の皆さま」と共に、黄金山山頂エリアの支障となる樹木を剪定伐採し、眺望・景観の改善を目的としています。

定刻9時から開会式が始まり、それぞれの代表の方々からご挨拶を賜りましたが、長年に渡りここまでやってきた思いとこれからの期待を感じました。引き続き山本理事長より挨拶と見勢井顧問より当日の作業について説明があり4班に分かれて作業を開始しました。《A班》は山頂広場西側の景観支障木伐採。作業場所が急こう配の為滑りやすく、安全確保に時間をかけて作業をしました。サクラ2本、アラカシ、ソヨゴ、モミジ等を除伐。谷の下側には送電線鉄塔があり、径20mm強のアラカシは鎌田さん特製のビッグショットでスローラインを打ち上げ、ロープとワイヤーで引き起こしながらのチェーンソー伐倒作業。作業後は谷が明るくなり鉄塔もよく見えるようになりました。

《B班》は展望台へ向かう道路途中、曲がり角付近のサクラやカシの除伐。サクラ1本、カシ2本、ハゼノキ、枯れたカシ1本を除伐しました。サクラの上には電線があり慎重に作業を行い、午後から学生ボランティアが加わり小木の除伐作業をしました。《C班》は展望台北側及び山頂広場南側法面の草刈りと景観支障木を伐採。D班は山頂広場東側斜面の草刈り、地元17名の方々と作業を行いました。

お昼は協議会よりカレーライス、おでん、バナナの差し入れがあり美味しくいただきました。大人数の受け入れ準備など改めて感謝申し上げます。午後は1時から作業を開始し14時20分作業終了。道具の手入れ、ミーティングを行い安全監視員よりヒヤリハット無しの報告があり終了となりました。

学生ボランティアから～「自然に触れ合うことができ楽しかった」「今まで黄金山に上ったことはなかったので良い経験になった」「このようなボランティアは初めて、木を切るのも初めて、良い経験になった」「スニーカーで作業をしたので斜面で滑って困った」「今までノコを使ったことが無かったので、木を倒すとき気持ち良かった」



学生も見晴らしに貢献。

準備など改めて感謝申し上げます。午後は1時から作業を開始し14時20分作業終了。道具の手入れ、ミーティングを行い安全監視員よりヒヤリハット無しの報告があり終了となりました。



開会式の様子。たくさんの方が参加しました。



協議会の皆さんが、お昼の準備をしてくださいました、美味しかったです。



11月クラフト部会

部会長 佐藤 謙治

★11月部会は「秋のグリーンフェア」「森の市」へクラフトを出展し、森資源の活用と森の大切さを体感して頂く活動を行いました。鹿ヶ谷での活動は年末まで続きますが、干支の兎クラフト製作と、みどり会様から依頼された間伐ヒノキ丸太の板材と、半割椅子の製材を行いました。体調不良でお休みされていた末本さん・佐渡さんが復帰され、本廣さんが、療養期間を含め1年半ぶりのチェーンソー玉切り作業をされました。鹿ヶ谷の紅葉が見ごろのさわやかな風、柔らかな日差しの中での活動に、元気を頂いた11月となりました。



本廣さん(左)

秋のグリーンフェア-2022[花と緑の講習会] (広島市植物公園) 10月29日(土) 30日(日) 開催

《 参加者作品総数：279作品 指導部員延べ23名 》

花と緑の植物公園の一角に出展。2日間天候にも恵まれ、多くの来場者が入園され我が倶楽部のコーナーにもたくさんの方の家族連れが訪れました。開催の2日間、クラフト部員他多数の倶楽部員の皆様の応援を得て無事終了することが出来、間伐材を利用・楽しみ森への感謝を抱いた2日間でした。スタッフお二人から感想をいただきました。

開園と併に“もりメイト倶楽部”のテントは大盛況です。はびっくり！慣れない私は右往左往するばかりでしたが、子どもたちと一緒に制作の手順や工具の使い方など覚えながら楽しむことができました。作品はどれも表現したい気持ちが溢れて工夫があちこちに見られました。青空のもと沢山の花に囲まれて作業ができ、完成品を手にした皆さんの笑顔も嬉しく、心地よい疲れを感じることができた一日でした。

3班 坂田美和



開催当初から長蛇の列！干支の干支のウサギも大人気でした！

間伐材を利用した作品の制作に指導員として初参加。9時の開始直後から列ができるほどの大盛況で、一部の部材は午前中で品切れの状態となりましたが、終了の3時まで列が絶えることはありませんでした。一生懸命に金槌・のこぎりを使っている子供たちの生き生きとした表情がとても印象的でした。

1班 堺次郎



片付けを終え無事終了。満開のコスモスがすぐそばで咲いていました。

第15回ひろしま「森の市：考えてみよう！森林とくらし」(広島市森林公園) 11月3日(祝・木)開催

《 参加者作品総数：194作品 指導部員15名 》

早朝の森林公園への道中、鷹の条山の山城の朝焼け、白木山の向こうまで見事な雲海が麓の街を包み、楽しい1日の始まりを感じつつ本日の開催場所に材料搬入し7:30 出展準備9:00 開演。

今年の広島市主催の「森の市」の開催テーマは「考えてみよう！森林と

くらし」。我が倶楽部からは、箱庭・木絵・ロボット・トラック・半割椅子の制作体験指導を行い、天気にも恵まれ、とても賑やかに芝生広場で行われました。

クイズラリーの出題：「タケノコが育つ、竹と竹の間隔はどのくらい。」読者の皆様も考えてみてください。

イベントは盛況で、希望者が多くコンテナをテーブルに対応するほどでした。終了の片付けを終え夕焼けで紅葉が輝く森林公園を後に、森との関りに活力を頂いた一日でした。今後ともクラフト部会よろしくお願ひします。



たくさんのテントが並び大盛況の「森の市」。



半割り椅子製作中。



木絵も人気アイテムの一つです。



鹿除けネットが完成しました。



雨の中、一輪車で薪置き場の移動

11月に入り、昼夜の寒暖差が一段と激しくなり、体調管理を気にかける季節となりました。

先月の里山部会では、天気予報より早く雨が降り出してしまった為、作業を中断してしまいました。従って今回は、鹿除けネットの敷設を年内に終わらせたいと思い、引き続き妙國寺での作業を行いました。

当日は、朝から雨で午後から回復の予報でしたが、さて、「何人来てくれるか」と1時間前から待っていると(いつも早いと怒られます)、いつもの面々が集まり14名の参加者がありました。全員が雨合羽を着ての作業、感謝感謝です。

主な作業内容は、鹿除けネットの敷設、薪棚の移設、また、1月にスクスクウの森で学生を受け入れる準備作業を、それぞれ手分けして行いました。

まずは鹿除けネットの第一段階のメッシュ敷設作業は終了。春までに、もう一段高く以前に張っていた網を張る予定にしています。また、5月から有志で行なってきた「スクスクウの森倉庫改修P」に依頼していた待望の薪棚が完成したので、薪置場から薪棚への移設を行ない終了しました。以前から里山の風景にふさわしくないと感じていたブルーシートで覆われた薪置き場は無くなり、少し広場が開けすっきりしました。

実はこの日、こんな事がありました。昼休憩あずまやに四阿で昼食をとっていると、突然ドスンと大きな音が！ナラ枯れ病にかかっている四阿あずまや

近くのアベマキから、雨の重みで耐えかねたのか大きな枝が落下してきました。人や四阿あずまやに被害はありませんでしたが早急にアベマキの除伐を考え対応しなくては(他にもナラ枯れ病が多数あり)。

今回は、12月11日(日)小川フィールドで新年を迎える準備の環境整備・里山部会恒例の納会を行う予定です。今年を振り返りながら、楽しくゆっくり過ごしていただける1日にしたいと思います。お弁当は小ぶりなものををご用意ください。差入れ大歓迎です。また、当日は特別な予定も加わります。下記のお知らせをごらんください。

広島県から【森づくり県民税の啓発事業】の協力依頼があり、県民に広く知っていただくために、当日はタレントの『アンガールズ山根』さんが来られてTVの撮影があります。

昼時は皆さんの和気あいあいとした雰囲気も併せて撮りたいとの事、もりメイト倶楽部のPRになりますので是非ご協力ください。よろしくお願いいたします。 《 理事長 山本恵由美 》



樹木いきいき講座

<その15>

3班 藤原満男

生き物を生産者、消費者、分解者に分けてみます。植物は、木の実や野菜、果物などの食料、薪や炭などの燃料、木材や紙そして酸素を生産します。消費者の動物は、それらを利用して生命を維持します。

分解者の微生物のウィルス、細菌、

カビなどの菌類は枯らしたり殺したり小さくします。そしてサステナブル(持続可能な)な世界を構成します。

さて、カビの仲間のシイタケの「ホダ木」は、落葉する前に伐採、葉枯らしをし、2月頃玉切り、植菌します。クヌギ、コナラが最適で、直射日光が当たらないようにします。梅雨前まで仮伏せ(打ち込んだ種駒のしいたけ菌が、原木に入っていくやすいよ

うに、保温管理をする目的で、ブルーシートなどで覆う)し、保温します。本伏せは、陽が当たらず雨が当たり通風あり排水のよい所に置きます。10月中旬に丸一日水に浸けるといいそうです。枠を作りシートを使えば、狭い所でもできます。





もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【 森づくり啓発シリーズ 】

～こんな事にも関わっています～



もりメイト倶楽部 Hiroshima では「森林整備の重要性」を多くの人々に理解して頂くため、方々で啓発活動の事業を展開しています。前回から、「森づくり啓発シリーズ」として「こんな事にも関わっています」とシリーズ化してお伝えしています。今回の活動は、私たちの生活に欠かせない水の故郷である太田川の源流域「太田川源流の森」において、間伐体験などを通し、森と水の関わりについて知ることを目的としています。太田川の恵みを受けている8つの水道事業体と連携して実施しており、平成12年から始まり今年で23年目を迎えました。より多くの方が活動を体験し、豊かな森林が育む太田川の清流を、次の世代に引き継いでいくこの事業に賛同し、長年協力をしています。次ページに掲載の「中国電力イベント」も併せてご覧ください。

「太田川源流の森」 間伐体験に参加

10月22日(土)

3班：坂田美和

蛇口から出てくる水はどこからやってくるのか？この度、太田川源流の森の活動に指導者として参加し、私自身も水につ

いて考える良い機会

となりました。今回の間伐体験は、広島市、江田島市と呉市、熊野町から参加。太田川の水が想像以上に広い範囲に供給されている事を改めて認識しました。しかも竹原市や大崎上島町にまで及ぶとは！さて、間伐体験当日、私の班は小中学生の子どもたちみんなで、力を合わせて杉の木を倒しました。子どもたちにはいつも感心させられるのですが、この度も例外ではなく、のこぎりの使い方がみるみるうちに上手になっていきます。

初めは口数も少なく静かな作業現場で、楽しんでくれているかな？大丈夫かな？と思うほどでしたが、枝を払って玉切りするころには私の心配をよそにみんな嬉々とした表情に変わっていました。作業が終わりに近づき、枝を片付ける頃になっても、子どもたちはもっと役に立てるよ！と体全体からエネルギーを発しているようで、とても頼もしかったです。

短い時間でしたが、どうか自然を大切に思う気持ちを育む一助となっていますように。

この日は、参加者の来られる前の準備や後片付けも、私にとっては先輩方から教えていただく有意義な時間でした。慌ただしい時間にもかかわらず、丁寧に教えてくださったことに感謝しています。特に初のロープ掛けは難しく、楽しく、また挑戦したい作業です。これからも出来ることをひとつずつ増やしていきたいなと思います。ありがとうございました。



森の入り口にある看板



お父さんと一緒にがんばりました。



水道局の職員と朝のミーティング



木を伐る前ノコの使い方を教わる



間伐指導の面々。新旧ペアを組みました。

【太田川源流の森間伐体験】は、「太田川流域水源涵養推進協議会」の主催で、毎年、吉和の太田川源流の森にて開催。《豊かな森は緑のダムとなり美味しい水を作る》ことから、太田川の水の恩恵にあずかる市を交代で応募し、森林整備や森の学習を行ない、毎回、倶楽部からたくさんの講師を派遣しています。

中国電力森林イベント part2 ~高梁市編~ 11月19日(土)

5班 秋武明



とてもすてきな森でした！みんなで記念撮影

中国電力 70 周年創立記念行事の一環として、昨年 11 月に北広島にて「森林イベント」を開催。この度、第 2 弾として、岡山の高梁市備中町にて森林イベントを開催、倶楽部の面々が駆け付けました。

《参加者の声:アンケートからの感想》

- ・間伐体験は楽しかった(全員)
- ・太い木の伐り方を教わりうまく伐れた。
- ・引っ張って倒した事やノコギリを使った事
- ・山と水と電気がつながっている事がわかった(水力発電も見学)。
- ・森の手入れの大切さを知り考えさせられた。

早朝 5 時起床、6 時 20 分に砂原さん、吉村さん、秋武が高陽町で待ち合わせ、7 時過ぎに集合場所の中国自動車道「安佐サービスエリア」へ。山本理事長、見勢井顧問、岩田さん、富田さんと合流後、東城インターまで走ること約 1 時間。

更に一般道を東へ南へと約 30 分。作業会場(水源涵養林)に着くも、休憩する間もなく資機材の準備を終える。10 時 20 分頃イベント参加者が到着し、10 時 30 分頃の開会式を終えて、中国電力スタッフの支援を得ながら、参加者 12 家族(32 名)を 1 班~6

班に編成し、更に作業時の注意事項を周知徹底して作業開始。

太いも細いももっと切りたいとの短時間ではありましたが、家族で四苦八苦しながらも、皆さん楽しく森林整備をして頂きました。11 時 30 分ごろにはデモンストレーションで受け口、追い口を入れた直径 30 センチ、高さ約 15 メートル程の大樹を、皆でロープで引き倒した時の「メキ、メキッ！ドッスン！」と大きな音がした時は、拍手と大きな歓声が上がりました。

参加した皆さんが、怪我無く終える事が出来、森林整備の素晴らしさと楽しさを感じて貰えたと思います。

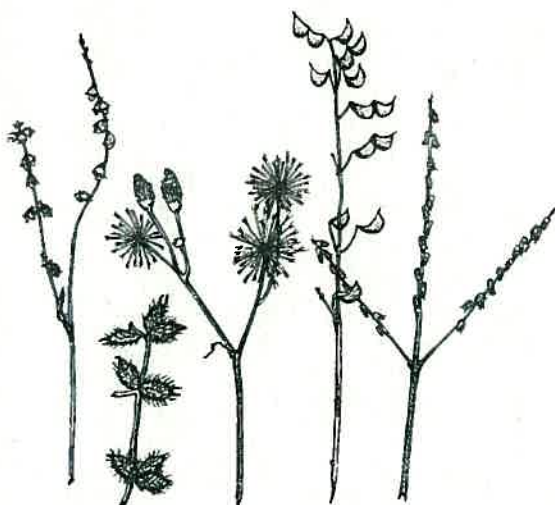
中国電力スタッフの皆さんもお疲れさまでした！参加者が去った後、メンバーで振り返りを実施。林間にシートを広げて食べたコンビニ弁当がとても美味しかった。月総走行距離約 270 キロ。

今月の枝 原田 澄

「ひつつき虫」たち

▼晩秋、熟した実の「ひつつき虫」に、道ばたや野山を歩いていると気付かぬ間にくっつかれ捉えられている。くっつかれた側は厄介者と思うが、地面に根を張って動くことができない側は、子孫を増やすための必死の戦略。▼種子散布には風や水で運ばれたり、動物に食べられたり、弾けたり、様々な方法がある。どれも、練りに練られた命をつなぐための緻密な使命を秘める。どんなに小さな「タネ」でも大きなエネルギーを持った命の完成体であり、それを思うに付け、自然への敬意を払わずにはいられない。▼今年もひと月を残すのみ。コロナの終息はもちろん、戦争、飢餓、災害等々多くの災いから平和を取り戻し、すべての命を受け継ぐことができますように。

~2022 年 11 月 湯来町にて~



- 左から キンミズヒキ (金水引:バラ科)
 オオオナモミ (大巻耳:キク科)
 コセンダングサ (小楠檀草:キク科)
 又スピトハギ (盗人萩:マメ科)
 イノコズチ (猪子糞:ヒユ科)



—12月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

■日時：12月4日(日)
 ■場所：大竹市松が原キッズフィールド
 枯れたコナラの伐倒作業を行います。
 また、1月21日(土)
 松ヶ原公民館にてクラフト指導、
 1月23日(月)袋町プラザにて
 来年度のキッズの打合せを予定
 ■連絡先：佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp

環研部会

～自家木工・クラフト趣味の方自由に参加お待ちしております～
 ■12月3日・10日・17日(土曜日)9:00より
 山本町鹿ヶ谷基地にて活動しております。
 木工クラフト&干支の兎楽しみたい方お待ちしております。
 《17日は大掃除納会を行う予定です》
 ■連絡先：佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp

クラフト部会



■日時：12月11日(日)9時～15時
 ■場所：小川フィールド
 ～安佐北区白木町中三田地区～
 ■作業：環境整備&納会
 里山部会恒例の納会を予定。また併せ
 TVの撮影もあります。ご参加ください。
 (P5に詳細)
 ■持参品：水筒・小ぶりな弁当・山の道具
 ■連絡先：岩田 080-5751-3798

里山部会

ひろしまドイツクリスマスマーケット2022

◆12月16日(金)/17日(土)/18日(日)
 12:00～20:30<最終日19:00>
 アーバンビューグランドタワー1階
 [中区上八丁堀：入場無料]
 倶楽部から間伐材のベンチやテーブルを提供。
 最終日には木工ワークショップでも協力します。
<https://hiroshima-christmasmarket.jp>

新年1月号の会報発送作業は下記の通り実施します。
 活動の日程を早くお知らせすることができるように、
 発送を1週間早めております。ご協力下さい。
 ■日時：12月26日(月)18:00～
 ■場所：広島市まちづくり市民交流プラザ3F

会員 & ご寄付の募集

もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭立って
 森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた
 木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。
 私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費 【個人会費】：3,000円
 【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先
 【広島銀行 白島支店】(普) 3283383
 【ゆうちょ銀行】15170-18029291
 《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》

お申込み方法
 下記まで電話、又はメールで
 【電話】090-6419-7531
 【Email】info@morimate-ch.com